

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和 7年 3月 31日

(あて先)松本市長

(申請者) 和田地区地域づくり協議会

1 交付決定額 

I	金 550,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 地区広報誌「わだのできごと」発行			
実施主体	和田地区地域づくり協議会(総務・広報部会)		
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日		
実施場所	和田地区内		
事業概要	地区内のできごと・お知らせ・課題・地域づくりに関する行事や話題について、地域づくり協議会として調査編集し、発行した。 今年度は、各団体の事業や、公民館や福祉ひろば事業への地域の皆さんが参加している様子や、参加した感想を多く掲載した。		
地域づくりの成果・効果	和田地区に関する情報を、わかりやすく掲載することを心がけている。身近な広報誌として子供から高齢者まで様々な内容を取り上げ、住民の地域づくりへの関心を高めることができた。また、住民の知りたい情報を適時にお知らせすることにより、住民の安心な生活の一助になったと考えられる。		
課題	国・県・市の行う事業に対する地元としての情報発信については、内容等について慎重に取り扱わなければならない。所管課と十分に連携をして、住民の関心のある情報を正確でわかりやすく掲載する必要がある。		
決算額	a+b+c	財源内訳	
	26,683円	a 26,683円	b 0円
		c 0円	

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 健康講座・買い物支援事業	
実施主体	和田地区地域づくり協議会(福祉・健康部会)
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日
実施場所	和田地区内

事業概要	1 フレイル・介護予防の一環として、関係地区担当職員協力のもと、健康講座を開催した。 2 「買い物に行くのに困っている。」、「近くにお店がない。」などの高齢者の声を受け、昨年度から実施している買い物支援事業として移動販売を本年度も継続して取り組んだ。新規に地域住民の自家野菜を販売した。			
地域づくりの成果・効果	1 地域の医師を講師に迎え、腎臓病について健康講座を開催。身近で普段から親しみのある医師が講師であったため関心が高く、多くの参加者があり、健康意識の向上を図ることができた。 2 移動販売は、高齢者の買い物支援の一助となった。また、外出のきっかけづくりになった。地域住民の自家野菜を販売したことにより、話題作りや、地域への関心を深めることができた。			
課題	誰もが参加できるような雰囲気づくり、講座内容であること。継続参加者には続けて参加できるような工夫が必要。 移動販売は多くの方に来ていただけるように毎回工夫していく。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	17,474円	17,474円	0円	0円

③ 事業名：あいさつ運動				
実施主体	和田地区地域づくり協議会(子育て支援部会)			
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日			
実施場所	和田地区内			
事業概要	和田地区内の約束ごととして、子どもに声をかける「あいさつ運動」を推進している。その推進啓発のためのリーフレットの発行し、全戸配布した。			
地域づくりの成果・効果	リーフレットに今年度は松本市社会福祉協議会和田支会が実施している「ふれあい会食会」のお弁当に添えた児童センターの児童の絵手紙を掲載し、手に取って見ていただけるような工夫をした。地域の高齢者への児童の思いを地域住民に知っていただき、さらに地域全体で言葉を通したつながりの醸成につながった。			
課題	今後もあいさつ運動を続けていけるように、リーフレットの内容や部会の活動について検討を続ける。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	5,777円	5,777円	0円	0円

④ 事業名：花卉栽培PR・環境整備事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会(環境・振興部会)			
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日			
実施場所	和田地区内			
事業概要	地区特産である花卉栽培をPRした。また、花のある地域としての環境整備(三間沢川河川清掃、花壇整備)を行う活動を支援した。 ・イベントや行事において地元花卉PR ・全町会で行う三間沢川一斉清掃作業への支援			

地域づくりの成果・効果	和田地区で活発に行われている花卉栽培のPRに併せ、地区内の景観や自然環境の整備を行うことで、地区の産業振興を図った。 河川清掃は全町会が参加し、地域の一体感が醸成された。			
課題	花卉栽培のPRや環境整備を進め地域に愛着を持ってもらうため、事業のさらなる工夫が必要 河川清掃は高齢化や危険な作業が伴うことにより、町会の負担が大きくなっている。担い手の育成および作業方法の見直し、作業経費の支援が必要			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	50,000円	50,000円	0円	0円

⑤ 事業名：指定避難所整備事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会(防災・安全部会)			
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日			
実施場所	和田地区指定避難所			
事業概要	指定避難所の芝沢体育館に防災用品を整備 ・暖房機器、ポータブル電源、備蓄用トイレトーパーを購入			
地域づくりの成果・効果	指定避難所に必要な防災備品をあらかじめ整備しておくことにより、災害に備えることができた。地域住民の不安軽減につながった。 災害時に必要な物資は何か、住民が考えることにより、防災意識の向上が図られた。			
課題	備品の適正な管理、使用方法を確認しておく必要がある。 備蓄品の必要在庫数を把握し、今後も整備していく必要がある。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	409,139円	332,407円	76,520円	212円

⑥ 事業名：ポッチャ普及促進事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会(文化・教養部会)			
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日			
実施場所	和田地区内			
事業概要	ポッチャは誰もが負担なく行うことができるため、参加しやすく、住民の交流に有効である。用具がなかったため、地域づくり協議会で購入し、地区各団体との共催事業での利用や、町会へ貸し出し、普及促進を図った。			
地域づくりの成果・効果	地域住民が集い、ポッチャを通して交流が生まれ、地域に対する郷土愛・親近感や町会活動への参加意識の向上が図られた。			
課題	子供から高齢者まで参加できるポッチャの楽しさを知っていただき、交流の輪をひろげ、地域行事の参加向上につなげられるよう、さらに周知を行うことが必要			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	55,770円	55,770円	0円	0円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	564,843円	488,111円	76,520円	212円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:						
積立目的						
積立期間	年度から 年度まで (本年度 年目)					
積立ての 目標金額	円					
積立実績	区分	積立額	積立事業への 積立金充当額	差引累計		
	前年度 までの 積立経過	1年目	円	円	円	
		2年目	円	円	円	
		3年目	円	円	円	
		4年目	円	円	円	
		5年目	円	円	円	
	本年度の積立実績	D	円	E	円	
合計額						
本年度積立金を充当して実施した事業の概要						
実施主体						
実施日(期間)						
実施場所						
事業概要						
地域づくりの 成果・効果						
決算額	E+G	財源内訳				
		E	G			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">積立継続( 年度まで)・廃止</td> </tr> <tr> <td>廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法</td> </tr> </table>					積立継続( 年度まで)・廃止	廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法
積立継続( 年度まで)・廃止						
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法						

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	61,889円
-------	---	---------

[参考]繰越上限額=I×2/10

### 3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し